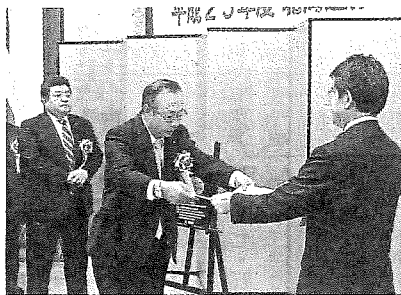


第26回北海道赤レンガ建築賞表彰式

豊かな創造性たてる
まちづくりへの思いも評価



第二十六回北海道赤レンガ建築賞の表彰式が三日、ASHTAISETSUをたたえた。道庁赤レンガ庁舎で執り行われた。建築賞を受賞した「E.R.」および奨励賞の「恵庭市黄金ふれあいセンター」の建築主、設計者、施工者それぞれに高井修副知事が賞状と銘板を手渡し、豊かな創造性やふれ、レベルの高い良質なものを「と高く評価した。賞状と銘板の授与に続き、高井副知事が祝辞。「建築主、設計者、施工者それぞれの深い思いが一つになり、地域に新たな拠点が生まれた」とした。受賞者を代表して、上士幌町の千葉与四郎副町長が謝辞。「厳寒の厳しい状況で事故もなく完成させていたのだいた」と施工者への謝意を表すとともに、「来場者を増やしたい」と今後の活動に向け、決意を新たに示した。

2014.02.04 北海道建設新聞

道赤レンガ建築賞表彰式

新たな拠点形成に功績

地域社会の発展に貢献する建築物に贈る北海道赤レンガ建築賞の表彰式が3日、道庁赤レンガ庁舎で開かれた。建築賞のひがし大雪自然館と奨励賞の恵庭市黄金ふれあいセンターの建築主と設計者、施工者に高井修副知事が賞状などを贈呈。3者の地域に対する思いが一つになり、新しい地域

の拠点が生まれたと、



高井副知事が3者の連携と功績をたたえた

功績をたたえた。北海道地方環境事務所の源泉郷ビジターセンターと上士幌町の博物館資料館を併設したひがし大雪

自然館は、意匠をアトリエアク、構造をエスフォルム、設備を基礎設備研究所がそれぞれ設計。ビジターセンターを伊藤組土建、資料館を官坂建設工業・橋内建設共同体が施工した。黄金ふれあいセンターは、意匠設計を渡辺建築設計、構造を都市構造研究所、設備を基設備研究所、外構を環境緑地研究所が担当。郷土建設・鼻和組共同体が施工した。高井副知事は、自然館を「環境事務所と町が連携し、豊かな自然に溶け込んだ質の高い学習空間」と評価。一方のふれあいセンターについては「関係者の努力により地域の方に親しまれる施設として実を結んだ」と述べ、

構想段階から地域住民と連携した点をたたえた。受賞者を代表して上士幌町の千葉与四郎副町長が「関係者の高い志と連携が不可欠だった」と感謝の言葉を述べた。